

# 平成 26 年度病院医学教育研究助成成果報告書

報告年月日：平成 27 年 4 月 13 日

研究・研修課題名	磁気共鳴専門技術者認定更新のための研修
研究・研修組織名（所属）	放射線部
研究・研修責任者名（所属）	原 真司
共同研究・研修者名（所属）	

## 目的及び方法、成果の内容

### ①目 的

磁気共鳴専門技術者認定更新のため日本磁気共鳴医学会主催の MR 実践講座を受講する。

### ②方 法

第 18 回 MR 実践講座「躯幹部 MRI 画像診断 up date 2014」を受講し認定更新に必要なポイントを得る。

日時：平成 26 年 12 月 13 日（土）09:30～16:45

会場：ベルサール九段 3F ホール（東京都千代田区九段北 1-8-10）

主催：日本磁気共鳴医学会

### ③成 果

本講座は各領域の第一線で活躍されている講師からの最新情報を含めた教育講演で、内容は「腎・尿路腫瘍における MRI の有用性」「前立腺 MRI ガイドラインと前立腺診療」「精巣」「躯幹部領域における最新 MRI」「肝臓」「胆・膵臓疾患の MRI」「MRI を用いた消化管評価」「乳房 MRI の読影実践」「子宮・卵巣の MRI 診断」「心臓 MRI～撮像法と臨床的有用性～」であった。

躯幹部の画像診断には広範囲を短時間で検査可能な X 線 CT が第一選択となる場合が多いが、MRI には拡散強調画像による細胞密度の評価をはじめ微少な出血や脂肪の描出、放射線による被ばくの少ない腸管運動の診断、造影剤を用いない血管描出など多くの利点がある。腹部領域の MRI では呼吸や蠕動運動によるアーチファクトが画質低下の原因となるが、最新の装置では自由呼吸下でも体動補正技術を用いアーチファクトを抑えた撮像が可能となっている。また呼吸停止下であれば現在よりも短時間で高空間分解能画像が取得でき、肝胆膵臓の疾患への応用が期待されている。

MRI は新たな撮像法が次々と開発され得られる情報も増えているが、これらを限られた検査時間内に導入するために MRI 担当者の継続的な知識の向上が求められていることを再確認できた。

本講座の受講により更新に必要な 100 ポイントうち 20 ポイントを得た。更新期限の平成 27 年度末までには更新に必要な要件を満たし更新予定である。